

江藤さん 全国2位に

技能グランプリ・和裁の部

一生の仕事として

全国の一級府市・梶原和裁所属の江藤ら五十二人が出場し、九時以上の資格を眞理さん(ニセ)安心院町東間で訪問着を縫い上げた。持つ技能士が椎屋IIが二位に入賞した。技術の正確さなどを審査し集まり、技の同グランプリは中央職業た結果、一位に一人、二位正確さを競う能力開発協会と全国技能士に江藤さんを含む三人が選「第十九回技能グランプリは中央職業た結果、一位に一人、二位正確さを競う能力開発協会と全国技能士に江藤さんを含む三人が選ばれた。

江藤さんは高校卒業後、械製図などの部門がある。江藤さんは高校卒業後、械製図などの部門がある。一生続けられる仕事として「第...」が、千葉県内からは各部門に合わせ一生続けられる仕事としての幕張メッセで五人が会場。江藤さんは和裁の道を選び、五年間学などで開かれ和裁の一級技能士で、県和校へ通った。卒業後、ずった。和裁の部裁士会の推薦を受けて出場と和裁の仕事が続けていに出場した別した。和裁の部には全国かる。同グランプリには二回



表彰状を手に笑顔の江藤さん

目の出場。今年一月からはグランプリに向け、競技と同じ時間で訪問着を縫う猛練習を積んだ。

江藤さんは「前は入賞できなかっただけに、今回の二位は信じ

られなかった
した」と話し